

# 前橋市立図書館だより

LIBRARY LIFE

本の活字を繰り返し読むことで自分のものにしていく  
そうすることによって本は心の友になってくれるのです



朗読と話し方クッションの会 佐藤弥生さん

令和元年  
11  
2019

## 私のおすすめの一冊



前橋市立図書館

司書 蓮池佳乃

『ABC殺人事件』早川書房

アガサ・クリスティー著

まだ児童書や漫画しか読んでいなかった小学生の時、「アガサ」という名前だけに惹かれて（名探偵コナンの影響で）ちょっと背伸びをして手にとった本です。活字が苦手な私にとって、初めての翻訳の文章と登場人物の多さに戸惑い、読むのに時間がかかったが、最後の展開に驚き、とてもそう快感があったのを覚えています。それから推理小説が大好きになりました。最近は画面を見ることが多くなってしまいましたが、アガサ・クリスティーのトリックの巧みさと人物の醸し出す雰囲気と描写が今でもずっと好きなように、どこかにいい出会いがあるかもしれないと思いながら、図書館で過ごしています。



前橋市立図書館 | MAEBASHI CITY LIBRARY

## 新刊案内

この国の不寛容の果てに

相模原事件と私たちの時代

雨宮処凛著 大月出版

生産性、自己責任、一人で死ぬ。不寛容な言葉にあふれたこの国で「障害者は不幸しか作らない」という線引きによって19人を殺した男。その命をめぐる対話集

空とアメリカ文学

石原 剛編 彩流社

エドガー・アラン・ポーの気球小説、マーク・トウエインの空や宇宙をめぐるファンタジー、サン＝テグジュペリの飛行文学。航空大陸アメリカの文学的想像力を探る

ノーサイドに乾杯!

ラグビーのチカラを信じて

松瀬 学著 論創社

ラグビーワールドカップ日本開催はいわば奇跡である。なぜ誘致できたのか。人々の知恵と情熱、成功のプロセスを記す。岩手県釜石市と熊本県熊本市の復興も描く



休館日 祝日の場合は開館し翌日休館 12月2日(月)は全館休館日

前橋市立図書館本館、上川淵・下川淵・桂萱・総社・元総社・総合教育プラザ・南橋・大胡・富士見分館

月曜

城南・東・芳賀・清里・宮城・柏川分館

木曜

前橋こども図書館

第4水曜

※11月11日(月)~15日(金)は前橋こども図書館が蔵書整理で休館に。また、地区文化祭で各分館の休館日が変わることがあります。

11月3日は文化の日です。文化と言えば美術鑑賞や映画鑑賞などが思い浮かびますが、本を読んでみてはいかがでしょうか。読書は感受性が豊かになり、想像力、語彙力が磨かれると言われます。文化の日が読書を始めるとききっかけになれば幸いです。

館長  
伊井直文の  
つぶやき



vol.6

Since  
2019.04



9月28日・29日の「敷島。本の森」ブックマルシェで出張開館した「森と空と水の移動図書館」では、多くの方と理想の図書館についてお話しすることができました。対話を通して生まれるものを大切にしていかなければなりません。森の中で新しい発見ができる本を選びましたが、お薦め本を借りてくれた方、いかがでしたでしょうか。会場となった敷島公園松林では幅広い年代の人が思い思いに自分の時間を過ごしていました。心地よい公共空間、公園の使い方が感じました。昔からの変わらない良さです。さて、図書館のニュースですが、10月から国立国会図書館がインターネット上の「Amebaブログ」の収集保存を開始。市川海老蔵さん、小林麻央さんなど文化人42人のブログが「現代社会の生の情報を伝える資料として、後世に伝える意義は大きい」と選ばれました。(山村)

編集よもぎま話

前橋市立図書館  
JP-1000546

図書館だより 第355号 令和元年11月発行  
〒371-0026 前橋市大手町二丁目12番9号  
TEL 027-224-4311 FAX 027-243-1877



WEB  
SITE

蔵書検索  
調査相談  
利用案内



FOCUS

市内中学生が図書館で職場体験学習実施



9月は東中・第一中・第六中・第七中・荒砥中・鎌倉中・桂萱中の生徒が前橋市立図書館本館・各分館、前橋こども図書館で職場体験学習を実施。カウンター業務や本の修理など中学生は一生懸命働き、利用者からとても喜ばれました。

前橋第七中学生徒による 私のおすすめの一冊



藤野 香さん

モナミは世界を終わらせる？

はやみね かおる 著 角川書店

私が落ち込んだ時、気分が沈んだ時に読む一冊です。はやみねかおる 20周年に書き下ろされた本で、学園を舞台にユーモアあふれるファンタジーとミステリーがくり広げられます。世界の重大事件と周囲で起こる出来事が同調している、ドジっ娘の主人公・モナミ。その命を守るため、山からやってきた丸男。「この世界が終わる」と、防ぐためにはお前が必要だとつげられたモナミは…。軽快な会話と引き込まれるストーリー。読後、笑顔になれること間違いナシです。

下町ロケット2 ガウディ計画

池井戸 潤著 小学館



中村 翔太さん

ある4月下旬の時、佃製作所にとある依頼が舞い込んだ。その依頼は、人工心臓のバルブのような弁を作ってくれという依頼だった。この本に出会ったきっかけは、よく科学の本や雑誌を読んで今の科学はどうなっているのだろうと思った時に読み始めた。この本は、人工心臓やロケットに使われるバルブを失敗しながらくり返し作り直す人々の物語である。私はこの本を読んでいつかは人工で、心臓が作られるかもしれないという、希望があふれました。

前橋こども図書館



EVENT

WEB SITE



絵本読み聞かせイベントなど詳しくは同館ウェブサイトをご覧ください。

まえばし学校フェスタ 2019

リレーおはなし会

中学生が絵本・大型絵本の読み聞かせや紙芝居、パネルシアターなどを行います。



日時=11月16日(土)・17日(日)、午前10時30分~正午、午後1時30分~3時

あつまれ！図書館レポーター 2019

～広めよう！本のせかい～

図書館探検やおすすめ本紹介のグループワーク、レポート動画撮影などを行います。

日時=①12月7日(土)②2020年1月11日(土)③1月12日(日)、①②は午前9時30分~午後4時30分 ③は午前9時30分~午後0時30分  
会場=K'BIX 元気 21 まえばし内中央公民館・前橋こども図書館

対象=全日程に参加でき、当館の利用カードを持つ小1~小6、抽選30人

参加費=3,000円

申し込み=11月25日(月)までにNPO法人教育支援協会北関東(☎027-226-6731)へ電話か右記専用申し込みフォームで

申し込みフォーム▶



収蔵品を巡る

福沢一郎 『ケンタウロス』

1970年 アクリル・カンヴァス  
71cm×162cm 前橋市立図書館蔵

福沢らしいこの自由な絵は、図書館が自由な学びの場であることの象徴として、1974年の現在の本館開館当時から中央図書室1階と2階の吹き抜けに面した壁に建物に寄り添うように常設展示されている。深い青色の空と黄緑の鮮やかな大地を背景に、ピンク色のケンタウロスが大きく腕を広げ、まるで飛び跳ねるようなポーズをとっている。後ろでは牧神らが踊り、底抜けに明るい世界を楽しみ、生命を謳歌しているようだ。1970年頃、福沢はギリシャ神話に主題を得て多くの作品を制作している。青い空と果てしない大地、そして奔放なポーズの神々や半獣半人たちは、この時期の福沢の重要なモチーフであったようだ。この作品「ケンタウロス」は1971年に群馬銀行から本市へ寄贈されたものである。

INTERVIEW



朗読と話し方クッションの会  
会長・佐藤 弥生さん

普段は静かな図書館で対話を楽しむ「おしゃべりリプロ」。進行役に、和楽器との融合による民話の朗読活動を行う佐藤弥生さんを迎えます。

本の中に生きる「民話」を語る

本に書かれたテキストを読むのとは違い、語り部による民話の口承には音楽のように音のニュアンスで伝わる臨場感があります。朗読と話し方クッションの会代表として平成10年から活動を続ける佐藤弥生さんは、「民話の語り部は、言葉一つ一つを自分のものにして語ることが大切」と話します。同会では酒井正保編集「上州の民話」を中心に、幅広い世代に民話の魅力伝えていきます。

「民話には、人としてどう生きるかという教訓が込められているものです。例えば、子どもは怖い話が好きですが、『あずきばあのお話』は遅くまで遊んでいる子を怖がらせて早く帰るよう促しているのです。直接、早く帰って来て家の手伝いをしなさいと言うのは違う形で、子どもにメッセージを伝えることができます」

物語には人を支える力があります。昔から伝えられる話が社会の和につながるように、佐藤さんたちの熱心な活動は続きます。

**民話テーマにおしゃべりリプロ**  
おしゃべりリプロでは、「他人の意見を否定しない」が約束事。今回は「民話」と聞いて思い出す本を一冊持参し、その本への自分の思いをそれぞれ話します。  
「同じ山でも登り始める場所や登

山者の感性が違えば、見える景色が違います。本でもこれと同じです。同じ文章から多様な意見があることを知るのには、社会の中で他者を理解することにつながります」

民話の語りでは語る側も聞く側も、登場人物を理解することで、人間形成の在り方など言葉ひとつの重みを知ることが大切だと言います。参加者から、どのような物語が生まれるか、どのような対話が生まれるのか、進行役の佐藤さん自身も楽しみにしているようです。

■おしゃべりリプロ民話の概要

テーマに沿って本を紹介し、参加者同士で語り合うおしゃべりリプロ。今回のテーマは「民話」です。本の紹介者とギャラリー(観覧者)を募集します。なお、本の紹介者は「民話」と聞いて思い浮かぶ本を一冊持参してください。紹介時間は5分程度です。  
日時=12月12日(木)午後1時30分~3時  
会場=市立図書館本館3階視聴覚室  
対象=《本の紹介者》先着10人  
《ギャラリー》先着20人  
申し込み=同館(☎027-224-4311)へ電話か直接

